令和５年度　道徳教育　全体計画

学校番号	14	長野　　高等学校	定　　課程	普通　　科

学校教育目標
1.個人の尊厳を重んじ、真理と平和を愛し、国家社会の有為なる人材の育成を期する。 2.高邁にして、明朗闊達、至誠一貫、質実剛健、和衷協同の精神を涵養し、身体の鍛錬と相まって、心身の調和的発達をはかる。 3.生徒の個性を豊かに伸ばし、各々その目的を達成させるために適切な指導をする。
重点目標
1.安心して学べる環境をつくるために，一人一人の生徒の様子を的確にとらえる。 2.基本的な生活習慣の確立にむけ，きめ細やかに生徒に接する。 3.わかる授業と力を伸ばす教育を実践するために，一人一人の理解度･進路希望に応じた指導を行う。 4.キャリア教育の充実や校外活動の充実を通じて，自立できる人間となれるようサポートする。 5.開かれた学校となるように，ホームページなどを用い広く情報発信をする。

道徳教育の重点目標
1.　基本的生活習慣を確立し、社会人として必要な礼儀・マナーを身につける。 2.生命や人権を尊重し、義務と責任を重んじる態度を養う。 3.すべての生徒が安心して学校生活を営むことができるよう相手の立場や人格を尊重する思いやりの心を育てる。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
１年	学校内外での諸活動を通して，社会の一員として自律的な行動および他者への尊重できるように，基本的な力を養いつつ能力を高める。	基礎的能力を育みながらキャリア意識を高める活動に取り組む。 〇インターンシップやアルバイト 〇進路を考えるきっかけづくりのキャリアガイダンス 〇ソーシャル・スキル・トレーニング	仲間と行動をする中で，人間関係を構築するスキルを学びつつ，自ら進んで行動できる態度を身に付ける。 〇SNSの事例研究から有効的な活用法を学ぶ 〇人権学習（主眼はいじめ）	集団の活動を通じ，自己と集団が共に成長できる力を養う。 〇生徒会活動での，自己の役割認識と行動の取り方について 〇文化祭でのかき氷店運営への参加
２年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方の自覚を高める。また、よりよい社会の創造に係る一員として協働する態度と行動力を身に付ける。他者との距離感を考慮しながら人間関係を実りあるものにする。	将来を展望し、進路を自分自身のものと自覚し、具体的な進路目標を考え、実現に向けた学びに取り組む。 〇アルバイト等の職業体験 〇進学・就職探究 〇課題研究	社会でのコミュニケーションの大切さと必要性を学び、他者の尊重が自尊感情を高めることを認識しながら、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 〇平和学習 〇人権学習（文化やLGBTなどの多様性など）	上級生と協力しつつ主体的に行動し、協調心を持った自主的・実践的な態度の形成。 〇学年混合の諸活動（集団活動での一定のルールの必要性） 〇文化祭でのかき氷店運営 〇生徒会主催行事の運営
３年	社会の諸課題に対して主体的に解決する意欲と能力を育成し、幅広い視点を持ちつつ全ての人が尊重される社会の実現をめざす内面的成長を促す。	社会の構成員の自覚を持ち、互いを尊重できる社会を目指す気持ち・行動が、自己実現にも有効であるという自覚を養う。 〇アルバイト等の体験を生かした就職活動 〇社会貢献を含めた進学研究	社会の構成員の自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 〇高校卒業後の在り方について 〇人権学習（社会生活の中の権利と責任）	一高校生の枠だけでなく、社会人の自覚を持ち、人権尊重の社会の実現に向けた校内外の活動に取り組む。 〇生徒会の運営の中心 〇文化祭の運営の中心 〇ボランティア活動

各教科	
国語	言葉での論理的思考力を高め、他者とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力を磨き、社会における道徳的心情や適切な行動ができる判断力を育む。
地理歴史	社会との関連を意識して課題を追究し，社会の在り方や地域・民衆の生き方を学ぶことで，他者への積極的な関心を持つ力を育む。
公民	社会との関わりを意識した課題探究により，未来の社会の在り方を考え、周囲と協調する生き方を選択出来る力を育む。
数学	数学的な見方・考え方や数学形成過程に触れることを通し、論理的に考える力を育み、粘り強く考える態度や創造性を養う。
理科	自然界の事象を探究する活動を通して、人間として適切な道徳的判断力や真理を大切に態度を育成する。
保健体育	身体活動を伴う授業において、集団で目標達成へのアプローチ等を通して、他者の協力と存在を認めていく態度を養う。
芸術	芸術的な見方・考え方を学び、感性を高めることで、心豊かな生活や社会を創造する精神を養い、豊かな情操を培う
外国語	未知の言語の学びから異文化への関心理解を深め，上手でなくても外国語を用いてｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを試みる積極性を養う。
家庭	日常生活にある伝統的な見方・考え方も学ぶことで、家庭や地域社会の一員の自覚を持ちつつ，自分の生き方を考える態度を育成する。
情報	機器を扱える能力と共に，情報モラルの学習を通じて，情報社会で適正な行動がとれる考え方と態度を身に付ける。
総合的な探究の時間	探究する考え方や事象の多方面の見方を学習する過程を通して，課題解決には主体性と協働性の両者が必要であることを経験し，そこから新たな価値を創造し，よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に貢献できる学校として、周辺清掃や地域の方の協力で園芸作業の活動等を通し、社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成者としての自覚を高める。